

キリストの聖体

2012.6.10 9:30 ミサ

マルコ 14・12-16,22-26

今日はついに初聖体の日です。4月からあかねリーダーと一緒に準備してきたご聖体のイエスさまを初めて今日頂くことになりました。早くいただきたいでしょう？ なので、今日の神父様のお話は短くしますね。

イエスさまのご聖体をいただくとどんな味がするのかな、そんなふうに前からずっと楽しみにしてきたでしょう。ご聖体のパンは、イエスさまのお体としてわたしたちいただきますが、そのパンの中にはお砂糖もお塩も何も入っていません。だけれども、不思議なことに、ご聖体をいただくと、口のなかですごく甘く感じると思いますよ。そして、ご聖体をいただいてお席にもどってくると、イエスさまのご聖体をいただいた味がお口の中に残っています。そして、胸のところがじわーっと暖くなる感じがします。イエスさまのご聖体をいただく時にはすごくドキドキするけれど、ご聖体をいただくと、すっかり安心出来て「イエスさまが来てくださった、とてもうれしいな」というお心だけが残ります。本当かどうか、あとでご聖体をいただいたときに、そんなふうに感じられるといいですね。

ご聖体のイエスさまを最初にいただいたのは誰でしょうか。あの「最後の晩餐」のときのお話を知っていますか。最後の晩餐のときにイエスさまはどうなさったんでしょう。弟子たちと一緒に最後の晩餐のテーブルでイエスさまはパンを取って、そして、それは、大きなパンだったので、そこにいる弟子たち一人ひとりが食べられるようにそのパンを裂いてくださって、そして、「これがあなたがたのために渡されるわたしの体だよ」とおっしゃって弟子たちに与えてくださいました。お食事がすんだ頃に、イエスさまはぶどう酒が入った大きな杯を皆に回して、「これを受けて飲みなさい。これはあなたがたと多くの人のために流されるわたしの血だよ。受けて飲みなさい」、そのようにおっしゃってくださいました。ごミサはそのイエスさまの最後の晩餐を思い起して、イエスさまがああときおっしゃったように、ご聖体のパンのイエスさまをみんなでいただきます。

最後の晩餐でイエスさまと一緒にテーブルを囲んで、イエスさまからご聖体のパンをいただいたときに、どうしてイエスさまが「これはあなたがたのために渡されるわたしの体だよ」、「これはあなたがたと多くの人のために流される

わたしの血だよ」っておっしゃったのか、その意味が弟子たちにはよくわからなかったと思います。最後の晩餐のあと、イエスさまはどうなってしまったのでしょうか。イエスさまは十字架に架けられて死んでしまわれたのです。けれども十字架の上に死んでしまわれたイエスさまは、約束しておられたとおりに復活されて、弟子たちに現れてくださったのです。復活されたイエスさまとお会いして、復活されたイエスさまが、神さまの聖霊を与えてくださった時、弟子たちにはわかったのです。「ああ、イエスさまがあの最後の晩餐のときにしてくださったことは、このことを言っていたんだ」ということが弟子たちにはわかったのです。十字架の上に死んだイエスさまは、あの最後の晩餐のときにおっしゃったように、十字架の上で死ぬことによって、そのお体とおん血をわたしたちみんなのために与えてくださったのだということがわかったのです。

あの最後の晩餐のときのイエスさまのおことばがなかったら、イエスさまの十字架の死は、「どうしてイエスさまは十字架に架けられて死んでしまわれたのだろう？」って、その十字架の意味がわからなかったと思います。復活されたイエスさまが来てくださったとき、弟子たちはあの最後の晩餐のときのイエスさまのおことばを思い出すことが出来たのです。「ああ、そうなのだ。あの最後の晩餐のときのおことばの通りに、わたしたちに神さまのいのちを、十字架に架けられて死んだイエスさまを復活させてくださった神さまのいのちをわたしたちに、みんなの人に与えるために、イエスさまは十字架の上に死なれたのだ」ということが、弟子たちはわかったのです。

教会のごミサの中でわたしたちはみんなイエスさまの十字架の前のこの祭壇のテーブルで、イエスさまが最後の晩餐のときにしてくださったように、「取って食べなさい。これはあなた方のために渡されるわたしのからだである。」というイエスさまのおことばを思い出してご聖体のパンをいただきます。イエスさまが十字架の上に死んで私たちに与えてくださった神さまのいのちを、イエスさまのお体、ご聖体としていただくのです。

今日は初聖体の日です。イエスさまのご聖体をいただくとき、イエスさまが最後の晩餐のときにそうおっしゃってくださったように、わたしたちがいただくご聖体のパンの中に、ご聖体をとおしてイエスさまの神さまのいのちをいただくんだ、そんな思いで、そんな感謝の中で、ご聖体をいただくさせていただきます。

これからずっとごミサに来て、ご聖体をいただいて、ごミサのあと教会学校でお勉強して、イエスさまのことがもっともっとわかるようになりますように。そして、みんな、イエスさまのお体をいただいて、イエスさまが与えてくださる神さまのいのちをいただいて、みんな、神さまに感謝しながらこれから

生きてゆくことができますように。どんな苦しいことがあっても、イエスさまがご聖体としてわたしたちのところに来てくださっているので、イエスさまがいつも一緒にいてくださるということを忘れることがありませんように。

ご聖体のイエスさまをお迎えして、みんなで、心を合わせて祈りましょう。

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高